

地球温暖化対策実施状況報告書

平成27年 7月 28日

（報告先）
横浜市長

住所 東京都墨田区両国2-10-14
両国シティコア3階
氏名 株式会社ルネサンス
代表取締役社長執行役員 吉田正昭
（法人の場合は、名称及び代表者の氏名）

横浜市生活環境の保全等に関する条例（以下「条例」という。）第144条第2項の規定により、次のとおり報告します。

1 地球温暖化対策事業者等の概要

事業者の氏名又は名称 （代表者の氏名）	株式会社ルネサンス 代表取締役社長執行役員 吉田正昭			
事業者の主たる 事業所の所在地	東京都墨田区両国2-10-14 両国シティコア3階			
主たる事業の業種	大分類	N 生活関連サービス業、娯楽業		
	中分類	80 娯楽業		
該当する 事業者の要件	<input checked="" type="checkbox"/> 条例施行規則（以下「規則」という。）第89条第1項第1号該当事業者			
	<input type="checkbox"/> 規則第89条第1項第2号該当事業者			
	<input type="checkbox"/> 規則第89条第1項第3号該当事業者			
	<input type="checkbox"/> 地球温暖化対策事業者以外の事業者（任意提出事業者）			
原油換算エネルギー使用量	1,652	k l	自動車の台数	台

2 計画期間及び実施年度

計画期間	平成25年度～平成27年度	実施年度	平成26年度
------	---------------	------	--------

3 温室効果ガスの排出の抑制等を図るための基本方針

■横浜市内の事業所においては、以下の会社方針の【1】大方針【2】基本方針を踏まえ、【3】計画の1. より取り組む。また、【4】の推進体制で実行していく。

【1】大方針 ㈱ルネサンスは、環境にやさしいクラブ運営を心がけることにより地球温暖化防止に貢献します。

【2】基本方針 全事業所で、エネルギーの合理化を推進することにより省エネルギーを実現します。

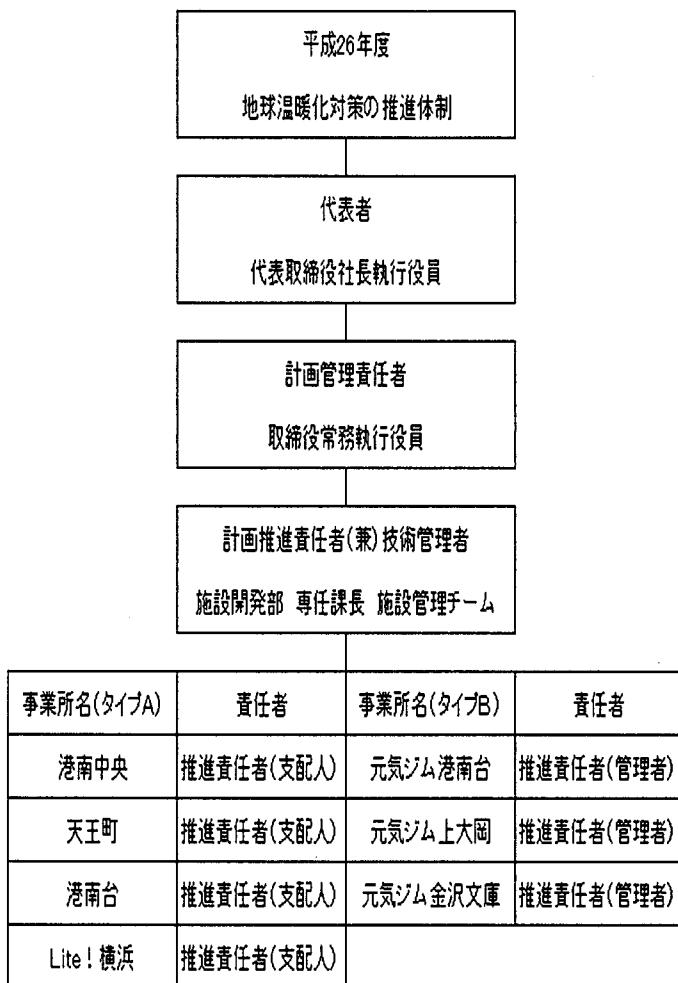
【3】計画 1. 既存設備の特性を活かし、エネルギーロスを無くす。 2. 高効率機器への更新。
3. 熱源システムの見直し。 4. グリーンエネルギーの活用。

【4】推進体制
<重点対策> 1. エネルギーの合理化による地球温暖化対策の組織体制の確立。 2. エネルギー一元管理体制の構築。
3. 事業所ごとのエネルギー種別管理の構築。 4. 事業所ごとの管理担当者を設立。

<その他の対策> 5. 定期的にエネルギーの合理化の状況を把握。 6. 各エネルギー合理化策のPDCA管理。

4 推進体制

平成26年度の推進体制は以下の通り



5 公表の方法等

ホームページ	アドレス	http://www.s-rennaissance.co.jp/corp/IR/index.html
窓口で閲覧	閲覧場所	
	所在地	
	閲覧可能時間	
冊子	冊子名	
	入手方法	
その他		

細則第38号様式（第2条第49号）
（総括票）

6の1 温室効果ガスの排出の抑制に係る目標等の状況（第1号及び第2号該当事業者）

基準年度 (24年度)	基準排出量	3,187 t-CO ₂			基準原単位	2.66 t-CO ₂ /千利用	
	調整後	3,178 t-CO ₂			目標原単位	2.64 t-CO ₂ /千利用	
目標年度 (27年度)	目標排出量	3,155 t-CO ₂	削減率	1.0 %	削減率	0.8 %	
排出の抑制に係る目標の設定の考え方	<p>【基準年の排出量の特記】 ・基準排出量の前提は5事業所（港南中央、天王町、港南台、Lite!横浜、元気ジム港南台）平成24年8月ランドマーク店は閉店。</p> <p>【目標排出量の削減対策】 ①全5クラブのジム室温管理に外気冷房活用 ②平成25年度から港南中央導入。③LED照明の導入を進める。④高効率ポンプとモーターの導入。</p> <p>【原単位の特記】 ・目標原単位を利用者数当たりとした根拠は、利用者数の増減によってエネルギー使用量が大きく変動する為。また単位面積当たりでは、営業促進と相反してしまうため。</p>						
事業者全体としての目標等	改正省エネ法に基づき、事業者として5年間で5%のエネルギーの合理化を目標としております。						
第一年度 (25年度)	排出量	3,213 t-CO ₂	削減率	▲0.8 %	排出原単位	2.59 t-CO ₂ /千利用	
	調整後	2,975 t-CO ₂	削減率	6.4 %		削減率	2.6 %
目標等の達成状況及び説明	<p>【排出量】猛暑の影響を受けて増加（外気温影響による悪化は12年度比0.57%）調整後排出量は市内事業所のコージェネレーションシステムの稼働（6.8t）と東京電力のクレジット（236t）もあり削減。</p> <p>【削減対策】エネルギーの合理化を推進し排出量は増大するも原単位は改善。</p> <p>【原単位】当社原単位 t-CO₂/千利用を採用。今年度の原単位は利用者数の増加により良化。</p>						
第二年度 (26年度)	排出量	3,099 t-CO ₂	削減率	2.8 %	排出原単位	2.59 t-CO ₂ /千利用	
	調整後	3,095 t-CO ₂	削減率	2.6 %		削減率	2.6 %
目標等の達成状況及び説明	【排出量削減対策】 港南中央：ジム・スタジオLED化。節水シャワーヘッド導入3クラブ実施。						
第三年度 (年度)	排出量	t-CO ₂	削減率	%	排出原単位	t-CO ₂ /	
	調整後	t-CO ₂	削減率	%		削減率	%
目標等の達成状況及び説明							
計画期間全体の排出状況に関する説明							

細則第38号様式（第2条第49号）
（総括票）

6の2 温室効果ガスの排出の抑制に係る目標等の状況（第3号該当事業者）

基準年度 (年度)	基準排出量	t-CO ₂			基準原単位	t-CO ₂ /	
	調整後	t-CO ₂			目標原単位	t-CO ₂ /	
目標年度 (年度)	目標排出量	t-CO ₂	削減率	%	目標原単位	削減率	%
排出の抑制に係る目標の設定の考え方							
事業者全体としての目標等							
第一年度 (年度)	排出量	t-CO ₂	削減率	%	排出原単位	t-CO ₂ /	
	調整後	t-CO ₂	削減率	%		削減率	%
目標等の達成状況及び説明							
第二年度 (年度)	排出量	t-CO ₂	削減率	%	排出原単位	t-CO ₂ /	
	調整後	t-CO ₂	削減率	%		削減率	%
目標等の達成状況及び説明							
第三年度 (年度)	排出量	t-CO ₂	削減率	%	排出原単位	t-CO ₂ /	
	調整後	t-CO ₂	削減率	%		削減率	%
目標等の達成状況及び説明							
計画期間全体の排出状況に関する説明							

細則第38号様式（第2条第49号）
（総括票）

7 事業所等における温室効果ガスの排出状況

事業所等の規模 (原油換算エネルギー使用量)	基準年度		第一年度		第二年度		第三年度	
	事業所等の 数(所)	排出量の 合計(t-CO ₂)	事業所等の 数(所)	排出量の 合計(t-CO ₂)	事業所等の 数(所)	排出量の 合計(t-CO ₂)	事業所等の 数(所)	排出量の 合計(t-CO ₂)
3,000k l 以上	0	0	0	0	0	0		
1,500k l 以上 3,000k l 未満	0	0	0	0	0	0		
500k l 以上 1,500k l 未満	2	2,175	2	2,182	2	2,064		
500k l 未満	3	1,012	3	1,031	5	1,035		
合計	5	3,187	5	3,213	7	3,099		

8 自動車における温室効果ガスの排出状況

自動車の区分	基準年度		第一年度		第二年度		第三年度	
	台数(台)	排出量の 合計(t-CO ₂)	台数(台)	排出量の 合計(t-CO ₂)	台数(台)	排出量の 合計(t-CO ₂)	台数(台)	排出量の 合計(t-CO ₂)
普通貨物自動車								
小型貨物自動車								
大型バス								
マイクロバス								
乗用自動車								
合計								
低公害かつ低燃費な車の 導入割合(%)		%		%		%		%

9 重点対策の実施状況

		基準年度	第一年度	第二年度	第三年度	備考	
第1号及び第2号該当事業者	1	推進体制の整備	実施済				5事業所 実施済 2事業所 平成26年度実施済
	2	主要なエネルギー使用設備の更新等の検討	実施済				5事業所 実施済 2事業所 平成26年度実施済
	3	機器管理台帳の整備	実施済		実施中		5事業所 実施済 2事業所 平成27年度中
	4	照明設備の運用管理	実施中	実施中	実施中		平成27年度中
	5	エネルギー使用量の把握	実施済				2事業所
	6	各種凶面の整備	非該当				蒸気配管・圧縮空気の設備がない
	7	外気導入量の適正管理	非該当				フィットネスクラブはビル管理法対象外のため
	8	フィルター等の清掃	実施中	実施済			2事業所済
	9	ポンプ、ファン及びブロワーの適正な流量管理	非該当				空調用の冷温水ポンプはなし。
	10	変圧器の需要率管理、効率管理	非該当				変圧器はオーナー資産であるため
	11	室内温度の適正管理	実施済		実施中		5事業所 実施済 2事業所 平成27年度中
	12	地下駐車場の換気管理	非該当				地下駐車場はないため
	13	照明設備の高効率化	実施中	実施中	実施中		平成27年度実施中
	14	事務所機器の待機電力管理	実施済				7事業所
	15	機器性能管理	非該当				冷凍機・ボイラーがないため
	16	冷凍機の冷水出口温度管理	非該当				冷凍機がないため
	17	燃焼設備の空気比管理	非該当				該当設備が無いため
	18	排出ガス温度の管理	非該当				該当設備が無いため
	19	蒸気配管のバルブ等の保温	非該当				蒸気配管がないため
	20	工業炉表面の断熱強化	非該当				工業炉がないため
	21	コンプレッサの吐出圧の適正化	非該当				コンプレッサがないため
	22	コンプレッサの吸気管理	非該当				コンプレッサがないため
第3号該当事業者	23	推進体制の整備					
	24	自動車の適正な使用管理					
	25	エネルギー使用量等に関するデータの管理					
	26	エコドライブ推進体制の整備					
	27	自動車の適正な維持管理					

細則第38号様式（第2条第49号）
（総括票）

10 再生可能エネルギー利用設備等の導入状況

番号	設備機器の種類	導入年度	性能等	備考
1	ガスコージェネレーション	平成18年度	CP10VB 3台	4.2t-CO2削減
2				(平成26年度)
3				
4				
5				

11 クレジット等に関する取組状況

番号	種類	年度	オフセット対象範囲	特定温室効果ガス換算量	備考
1	電気の使用	平成26年度	市内の全事業所	0t-CO2	東京電力
2	高効率コージェネの利用	平成26年度	市内事業所	4.2t-CO2	総合エネルギー効率63.1% 省エネ率12.5%
3					
4					
5					

12 その他の地球温暖化を防止する対策の実施状況

基準年度までの対策	
計画期間内に実施する対策	
第一年度実績	
第二年度実績	
第三年度実績	

13 実施状況等に対する自己評価

--

地球温暖化対策実施状況報告書

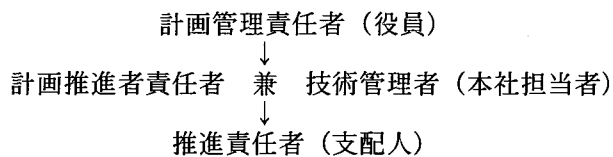
1 事業所等の概要

事業所等の名称	ルネサンス港南中央			
事業所等の所在地	神奈川県横浜市港南区港南中央通12-31 gooday place3F			
事業所等の建物管理、エネルギー管理に関する状況等	延床面積	4,526 m ²	原油換算エネルギー使用量	566 kl
	事業所等の区分	商業施設	所有形態	賃借（テナント）
	エネルギー管理権原	一部有り	使用形態	一部使用

2 温室効果ガスの排出の抑制等を図るための基本方針

エネルギーの合理化を推進することにより省エネルギーを実現します。

3 推進体制



細則第38号様式（第2条第49号）
（個別票）

4 温室効果ガスの排出の抑制に係る目標等の状況

基準年度 (24年度)	基準排出量	1,075 t-CO ₂			基準原単位	2.48 t-CO ₂ / 千利用
目標年度 (27年度)	目標排出量	t-CO ₂	削減率	%	目標原単位	t-CO ₂ / 削減率 %
排出の抑制に係る目標の設定の考え方						
事業者全体としての目標等						
第一年度 (25年度)	排出量	1,081 t-CO ₂	削減率	▲ 0.6 %	排出原単位	2.36 t-CO ₂ / 千利用 削減率 4.8 %
目標等の達成状況及び説明	エネルギーの合理化を推進し排出量削減に努め、排出量は前年に対して微増するも排出原単位は改善。 【排出量】外気温の影響 2012年比 0.57%悪化 【原単位】利用者数の増加により良化 2012年比105.6%					
第二年度 (26年度)	排出量	1,065 t-CO ₂	削減率	0.9 %	排出原単位	2.38 t-CO ₂ / 千利用 削減率 4.0 %
目標等の達成状況及び説明	空調更新や節水シャワーヘッドの導入などエネルギー合理化に努めたが、施設が増加したことにより排出量も増加した。 【排出量】事業所が増加したことにより排出量も増加 【原単位】2014年度より入館者数のカウント方法を変更したことにより、結果として入館者数が減少し排出原単位が悪化した。					
第三年度 (27年度)	排出量	t-CO ₂	削減率	%	排出原単位	t-CO ₂ / 削減率 %
目標等の達成状況及び説明						
計画期間全体の排出状況に関する説明						

地球温暖化対策実施状況報告書

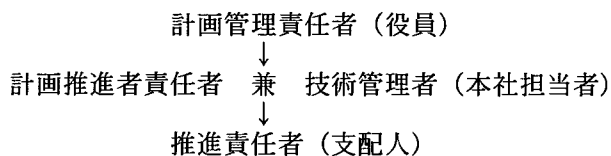
1 事業所等の概要

事業所等の名称	ルネサンス天王町			
事業所等の所在地	神奈川県横浜市保土ヶ谷区天王町2-45-12			
事業所等の建物管理、エネルギー管理に関する状況等	延床面積	6,535 m ²	原油換算エネルギー使用量	536 kl
	事業所等の区分	商業施設	所有形態	賃借（テナント）
	エネルギー管理権原	一部有り	使用形態	一部使用

2 温室効果ガスの排出の抑制等を図るための基本方針

エネルギーの合理化を推進することにより省エネルギーを実現します。

3 推進体制



細則第38号様式（第2条第49号）
（個別票）

4 温室効果ガスの排出の抑制に係る目標等の状況

基準年度 (24年度)	基準排出量	1,100 t-CO ₂			基準原単位	3.71 t-CO ₂ / 千利用
目標年度 (27年度)	目標排出量	t-CO ₂	削減率	%	目標原単位	t-CO ₂ / 削減率 %
排出の抑制に係る目標の設定の考え方						
事業者全体としての目標等						
第一年度 (25年度)	排出量	1,101 t-CO ₂	削減率	▲ 0.1 %	排出原単位	3.67 t-CO ₂ / 千利用 削減率 1.1 %
目標等の達成状況及び説明	エネルギーの合理化を推進し排出量削減に努め、排出量は前年に対して横ばいで排出原単位は改善。 【排出量】外気温の影響 2012年比 0.57%悪化 【原単位】利用者数の増加により良化 2012年比101.4%					
第二年度 (26年度)	排出量	999 t-CO ₂	削減率	9.2 %	排出原単位	3.62 t-CO ₂ / 千利用 削減率 2.4 %
目標等の達成状況及び説明	【排出量】照明のLED化などにより排出量は減少した。 【排出原単位】2014年度より入館者数のカウント方法を変更したことにより、結果として入館者数が減少し排出原単位が悪化した。					
第三年度 (26年度)	排出量	t-CO ₂	削減率	%	排出原単位	t-CO ₂ / 削減率 %
目標等の達成状況及び説明						
計画期間全体の排出状況に関する説明						